

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：商業振興費

事業名 関西圏県産品流通拡大支援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 県産品流通支援課 国内展開係 電話番号：058-272-1111(内3817)

E-mail：c11370@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 12,000 千円 (前年度予算額： 8,008 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	8,008	0	0	0	0	0	0	0	8,008
要求額	12,000	0	0	0	0	0	0	0	12,000
決定額	12,000	0	0	0	0	0	0	0	12,000

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

・県内事業者とコンタクトを図る中で、関西圏への県産品の販路拡大ニーズ及び対面販売のニーズは高く、首都圏と比較しても遜色ないことがわかった。2025年に開催される大阪・関西万博は多くの来場者が見込まれ、国内外に県産品をPRする絶好の機会であることから、機運が醸成しつつある関西圏での県産品販売機会を創出することで、より効果的な販路拡大支援を図る。

(2) 事業内容

- ・関西圏の駅構内等での県産品展示販売
大阪府内の主要駅構内、百貨店、セレクトショップ等にて期間限定で県産品販売店舗を設置。県産品販売機会を創出し、県ならびに県産品の認知度向上を図る。
- ・関西圏に拠点のある県内事業者との連携
大阪府内に支店やショールームを構える県内事業者との相互連携を行い、県ならびに県産品の認知度向上を効果的に図る。
- ・情報収集
2025大阪・関西万博での県産品活用に向けた売込強化のため情報収集を図る。

(3) 県負担・補助率の考え方

関西圏での県産品を販売する常設店舗はなく、関西圏での販路拡大及び対面販売を希望する県内事業者にとって、単独で販売店舗を出店することは経費負担が非常に大きく、リスクも高いことから県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

有（大都市圏県産品販売コーナー設置・運営事業）

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費	32	プロポーザル審査会委員報償費
旅費	742	職員旅費等
需用費	36	消耗品費
役員費	45	通信運搬費等
委託料	11,145	
合計	12,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「岐阜県経済・雇用再生戦略（R5～R9）」

5 県産品の世界展開プロジェクト

(2) 国内における販路拡大支援

(2) 国・他県の状況

2025大阪・関西万博を地域の魅力を発信する絶好の機会と捉え、関西圏での地域の発信に向けた取り組みを始めた都道府県も出てきており、岐阜県も取り組みを展開していく必要がある。

(3) 後年度の財政負担

県内事業者の知名度及び県産品イメージの定着を図るため、大阪・関西万博が開催される2025（令和7）年まで継続的な支援が必要。

(4) 事業主体及びその妥当性

県が積極的に関西圏に向けた県産品の流通支援を行うことで、県内事業者の販路拡大や商品・事業者の知名度向上が期待できる。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

2025大阪・関西万博の開催に向けて、関西圏での県産品の認知度向上及び販路拡大を図るため、県産品販売やマーケティング機会を創出することで、県内事業者の販路拡大を支援し、関西圏との結びつきを強め、万博での県産品活用に向けた売り込みを強化する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
取扱商品数 (延べ)	—	—	200	300	300	—

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 3	2025大阪・関西万博の開催を県及び県産品をアピールする絶好の機会と捉え、関西圏に向けた県産品の流通支援を県が積極的に行うことで、県内事業者の販路拡大と商品・事業者の知名度向上が期待できる。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>これまでポストオリ・パラに向けて首都圏方面に向けた県産品の販路拡大を推進してきた一方で、関西圏に向けた販売機会の創出及び岐阜ブランドのPRが十分でなかった。</p>

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>2025大阪・関西万博を見据えて継続的に関西圏での消費者ニーズを把握し、県産品の磨き上げ・流通拡大の促進を図るとともに、認知度向上に向けた取り組みを進めて行く。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	県産品ブラッシュアップ事業【県産品流通支援課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	県産品ブラッシュアップ事業で支援した商品を販売会で取り扱うことで、消費者の反応や生の声をフィードバックでき、県内事業者が商品の更なるブラッシュアップをすることが可能。